

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [大津市立志賀中学校] 担当教諭名 [佐々木 華代・濱田 智子] (美術部 19名)
 相手国・地域 [イタリア]
 海外学校名 [Istituto Istruzione Superiore Gandhi] 担当教諭名 [Mario Siragusa]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	部活動	アートマイルプロジェクト	70

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	伝統工芸を未来に引き継ごう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	Let's protect our tradition. We can do many things.



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 相手国について調べ学習を進める中で、興味を持ち、能動的に活動することができた。 「伝統工芸」をテーマにすることにより、自分たちの住む地域の伝統工芸に目を向けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の問題があり、生徒同士の交流をする事ができなかった。 交流をしたものの、相手国が描いた絵がこちらの意図するものと違い、難しさを感じた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> イタリアについては漠然とした思いしかなかったが、調べ学習をする中で身近に感じ、食文化を中心に体験しようという意欲がわいた。特にナルニア国物語と関係があるということでも興味を喚起された。 周りの伝統文化を調べたり、実際に扇子を作ったりする中で、伝統文化に対する興味が生まれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員自身も地域の伝統文化について学ぶことができた。 伝統文化を守る、というテーマを投げかけたあとの生徒の考えが多方面に広がった事が興味深かった。 生徒だからこそSNSなどの強みを活かしてできることがたくさんあることがわかった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	10月	・自己紹介のためのパワーポイントを作った。	・英語で話したりするのは苦手な生徒が多かったため、それはやめ、映像での自己紹介には前向きに取り組めた。	部活10
共有 テーマ学習	10月	・イタリアやナルニ地方について、文化、食、自然、ナルニア国物語などのグループに分かれてテーマ学習をし、発表した。	・調べていくうちに、どんどん興味を持つようになっていった。お互いの発表を興味深く聞き、「見てみたいね」「食べてみたいね。」という声が多く上がった。	部活10
融合 メッセージ作成	11月	・グループ発表を受けて、発信したいメッセージについて話し合った。 ・壁画の下絵を一人一人が考えて描いた。	・メッセージについて、はじめはつかみ所が無く、考えが深まらなかったが、伝統文化の現状などを調べていくうちにまとまってきた。下絵をそれぞれ熱心に描いた。	部活8
創造 壁画制作	12月	・壁画の下絵を完成させ、制作に取りかかった。 ・クリスマス会でイタリアの食で調べた、パスタやミネストローネ、パネトーネなどを作った。扇子づくりをした。	・何人かのアイデアを組み合わせたものを下絵として協力し合いながら熱心に描いた。 ・クリスマス会は大盛り上がりしてイタリアの食文化を楽しんだ。	部活20
評価 振り返り 自己評価	2月	・壁画にメッセージを書き入れ、完成させた。 ・ふり返り、自己評価をした。	・壁画の完成に大きな達成感をもった。また、伝統文化について関心を持つようになった。	部活10

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	下絵を描く中で、どんどん自分たちで調べていたところ。
異文化を理解する力	5	興味を持って調べ学習をし、他の人の発表に興味を持って聴き入っていたところ。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	パワーポイントや壁新聞などを協力して自分たちで作り上げたこと。発表の時に工夫をして発表をしていたところ。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	1	英語の力が乏しいので、直接コミュニケーションを取る力は養うことができなかった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	伝統文化について自分たちを振り返ることで、考えが深まったところ。
主体的に考え行動する力	5	自分たちで学習を進めていっていたところ。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	仲良くグループ学習ができ、他のグループの発表をよく聞いた。絵の制作も力を合わせてすることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	自分たちの思いを絵に表現することができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	「もっとこうすればよかったね。」といったようなふり返りができていた。